

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【公表番号】特表2006-502080(P2006-502080A)

【公表日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-003

【出願番号】特願2003-546932(P2003-546932)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/06	
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	39/00	Z
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 P	35/00	

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月18日(2005.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

癌を処置するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、有効量のT L R アゴニストと組み合わせて、有効量の腫瘍由来樹状細胞(D C)阻害因子アンタゴニストを含む、薬学的組成物。

【請求項2】

請求項1に記載の薬学的組成物であって、前記腫瘍由来D C阻害因子アンタゴニストが、I L - 6 アンタゴニスト、V E G F アンタゴニスト、C T L A - 4 アンタゴニスト、O X - 4 0 アンタゴニスト、T G F - B アンタゴニスト、プロスタグランジンアンタゴニスト、ガングリオシドアンタゴニスト、M - C S F アンタゴニスト、およびI L - 1 0 アンタゴニストからなる群より選択される、薬学的組成物。

【請求項3】

前記腫瘍由来D C阻害因子アンタゴニストが、I L - 1 0 アンタゴニストである、請求項2に記載の薬学的組成物。

【請求項4】

前記I L - 1 0 アンタゴニストが、I L - 1 0 のアンタゴニストおよびI L - 1 0 レセプターのアンタゴニストからなる群より選択される、請求項3に記載の薬学的組成物。

【請求項5】

請求項4に記載の薬学的組成物であって、前記I L - 1 0 アンタゴニストが、以下:

a) 組換え体;

- b) 天然のリガンド；
- c) 低分子；
- d) 抗体または抗体フラグメント；
- e) アンチセンスヌクレオチド配列；あるいは
- f) 可溶性IL-10レセプター分子、

である、薬学的組成物。

【請求項6】

前記抗体が、モノクローナル抗体である、請求項5に記載の薬学的組成物。

【請求項7】

前記抗体が、抗IL-10Rモノクローナル抗体である、請求項6に記載の薬学的組成物。

【請求項8】

前記TLRアゴニストが、以下：

- a) 組換え体；
- b) 天然のリガンド；
- a) 免疫刺激性ヌクレオチド配列；
- b) 低分子；
- c) 精製された細菌抽出物；
- d) 不活性化された細菌調製物、

である、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項9】

前記TLRアゴニストが、TLR-9のアゴニストである、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項10】

前記TLRアゴニストが、免疫刺激性ヌクレオチド配列である、請求項9に記載の薬学的組成物。

【請求項11】

前記免疫刺激性ヌクレオチド配列が、CpGモチーフを含む、請求項10に記載の薬学的組成物。

【請求項12】

前記免疫刺激性ヌクレオチドが、CpG 2006(配列番号1)、CpG 2216(配列番号2)、AAC-30(配列番号3)、およびGAC-30(配列番号4)からなる群より選択される、請求項11に記載の薬学的組成物。

【請求項13】

前記免疫刺激性ヌクレオチド配列が、ホスホロチオネート-改変のような構造改変によって安定化される、請求項10に記載の薬学的組成物。

【請求項14】

前記免疫刺激性ヌクレオチド配列が、カチオン性リポソームにカプセル化される、請求項10に記載の薬学的組成物。

【請求項15】

前記腫瘍由来DC阻害因子アンタゴニストが、抗IL-10Rモノクローナル抗体であり、そして前記TLRアゴニストがCpG 2006(配列番号1)である、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項16】

請求項1に記載の薬学的組成物であって、該薬学的組成物が、前記腫瘍由来DC阻害因子アンタゴニストおよび/またはTLRアゴニストを送達部位に持続放出させる、投与のために処方された物質をさらに含む、薬学的組成物。

【請求項17】

前記腫瘍由来DC阻害因子アンタゴニストおよび/またはTLRアゴニストが、静脈内投与、腫瘍内投与、皮内投与、筋肉内投与、皮下投与または局所投与されるために処方され

る、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 18】

少なくとも 1 つの腫瘍関連抗原をさらに含む、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 19】

前記腫瘍関連抗原が、TLR アゴニストに連結する、請求項 18 に記載の薬学的組成物。

【請求項 20】

請求項 18 に記載の薬学的組成物であって、前記腫瘍関連抗原が、以下：Melan-A、チロシナーゼ、p97、-HCG、GalNAc、MAGE-1、MAGE-2、MAGE-3、MAGE-4、MAGE-12、MART-1、MUC1、MUC2、MUC3、MUC4、MUC18、CEA、DDC、黒色腫抗原 gp75、HKer 8、高分子量黒色腫抗原、K19、Tyr1 および Tyr2、pMEL17 遺伝子ファミリーのメンバー、c-Met、PSA、PSM、-フェトプロテイン、甲状腺ペルオキシダーゼ、gp100、NY-ESO-1、p53 ならびにテロメラーゼからなる群より選択される、薬学的組成物。

【請求項 21】

請求項 1 に記載の薬学的組成物であって、前記処置される癌が、以下：黒色腫、乳癌、膵臓癌、結腸癌、肺癌、神経膠腫、肝細胞癌、子宮内皮癌、胃癌、腸癌、腎臓癌、前立腺癌、甲状腺癌、卵巣癌、精巣癌、肝臓癌、頭部および頸部の癌、結腸直腸癌、食道癌、胃癌、眼の癌、膀胱癌、神経膠芽腫、ならびに転移性の癌腫からなる群より選択される、薬学的組成物。

【請求項 22】

活性剤をさらに含む、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 23】

前記活性剤が、IFN、TNF、RANK リガンド／アゴニスト、CD40 リガンド／アゴニストまたは TNF / CD40 レセプターファミリーの別のメンバーのリガンド／アゴニストからなる群より選択される、請求項 22 に記載の薬学的組成物。

【請求項 24】

血液樹状細胞の数を増加させるサイトカインをさらに含む、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 25】

前記樹状細胞増殖因子が、FLT3-L、GM-CSF および G-CSF からなる群より選択される、請求項 24 に記載の薬学的組成物。

【請求項 26】

前記腫瘍に送達するために処方される、樹状細胞上で活性なケモカインをさらに含む、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 27】

請求項 26 に記載の薬学的組成物であって、前記ケモカインが、以下：CCL21、CCL3、CCL20、CCL16、CCL5、CCL25、CXCL12、CCL7、CCL8、CCL2、CCL13、CXCL9、CXCL10 および CXCL11 からなる群より選択される、薬学的組成物。

【請求項 28】

前記ケモカインが、ケモカインまたはその生物学的に活性なフラグメントもしくはその改変体および標的化部分を含む標的化構築物を用いて前記腫瘍に送達されるために処方される、請求項 26 に記載の薬学的組成物。

【請求項 29】

請求項 28 に記載の薬学的組成物であって、前記標的化部分が、以下：

- a) 少なくとも 10 個のアミノ酸のペプチド；
- b) タンパク質；
- c) 低分子；
- d) ベクター；および

e) 抗体またはそのフラグメント、
からなる群より選択される、薬学的組成物。

【請求項 3 0】

前記腫瘍由来 D C 阻害因子アンタゴニストおよび / または T L R アゴニストが、互いに連結する、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 3 1】

前記腫瘍由来 D C 阻害因子アンタゴニストおよび / または T L R アゴニストが、腫瘍関連抗原にさらに連結される、請求項 3 0 に記載の薬学的組成物。